



学校だより

上小岩



令和8年 5月29日

NO.3

江戸川区立上小岩小学校

校長 宮本 知司



あいさつは明るい声で、いい顔で

校長 宮本 知司

毎朝、登校する子供たちの安全とその様子を見守りながら、正門(時に交差点や緑道など)で、子供たちに「おはようございます」の声をかけることを日課としています。休み明けの月曜日にはちょっと声の小さい子が多かったり、逆に学校で楽しみなことがある日には、とても張り切った元気な声が返ってきたり…と、子供たちの“元気のバロメーター”にもなっています。また、一緒に門まで来られる保護者の皆さんや地域の方、三中へと向かう中学生にも声をかけているので、きっと毎朝500人くらいの方に「おはようございます!」と言っているのだと思います。

これは生活指導主任をしていた30代の頃から続けていることで、副校長時には職員室での電話対応などのため毎日ではできないこともありましたが、かれこれ25年もの“朝の習慣”となっています。千代田区の小学校の時には、駅から近隣のオフィスや病院へと向かう人がひっきりなしに通る道に立っていたため、冬場に声が枯れるようなこともありましたが、しかし、最初は怪訝な顔をして素通りしていた方がだんだんと笑顔を返してくれるようになったり、笑顔で挨拶を交わすようになる方がいたりして「挨拶って不思議な力があるんだな」と実感をしたいい経験です

5月の学校公開日の「こころの講演」では、子供たちとともにたくさんの保護者の皆様も講師の庭野先生のお話に耳を傾けてくださいました。先生の明るいお声に合わせて、右のような

あいさつ「あ」の字は、あかるい声(こえ)で
あいさつ「い」の字は、いいかおで
あいさつ「さ」の字は、人より先(さき)に
あいさつ「つ」の字は、つづけましょう

言葉をお子たちは元気に唱えましたが、これからも「明るい挨拶の声が自然と響き合う上小岩小でありたい」と願います。地域でもご家庭でも、子供たちへのお声がけをよろしく願いいたします。

明日30日は、待ちに待った『体育学習発表会』です。学校改築中で十分な校庭がないため、今年で4回目となりますがお隣の上小岩第二小学校の校庭をお借りしての実施です。

参観者の暑さ対策として1階の小ホールを休憩場所として、また、授乳やおむつ交換等の場所として保健室もお借りするなど、これまでの練習期間も含めて全面的な協力をいただいていることを改めて有難く思います。どうか参観の際には「使う前よりも綺麗に!」の気持ちで会場を使い、子供たちの頑張りに大きなご声援をお願いいたします。



この原稿を書いている今、窓の外は雨です。5月としては異例の暑さと灼熱の太陽が影を潜め、しっとりとした空気は落ち着きをもたらしてくれます。毎日一生懸命に練習をしてきた子供たちにとっても、少し気持ちを休めるいい時間だと思います。体育学習発表会を終えて6月に入ると、いよいよ梅雨の季節となります。早くも梅雨入りをした沖縄の八重山地方(最も南西の石垣島などの島々)では、梅雨のことを『ユドゥン』と呼ぶそうです。「よどむ、休む」という意味で、本州よりもはっきりと夜空に輝く「すばる(プレアデス星団)が天空から消える」ということからついた呼び名だそうです。何だか素敵な言葉ですね。

新しい学年になって頑張り、体育学習発表会に向けてまた頑張り、心身ともに疲れのたまっている子供たちです。「ユドゥン」の気持ちで少しゆったりと過ごす6月にしたいと思います。